ペット質問箱

室内飼いで健康診断は必要？

異常の早期発見へ定期受診を

問 犬や猫を室内飼いしている場合、健康診断は必要ですか？

答 室内飼いでも健康診断はとても大切です。外に出ないから安心と思われがちですが、腎臓病や心臓病、ホルモン異常、腫瘍などは生活環境に関係なく発生します。またどうしても運動不足やストレスから糖尿病や脂肪肝、特発性膀胱炎などを起こしやすくなります。実際、元気そうに見えていたペットでも、検査で初めて病気に気付くケースは少なくありません。

犬や猫は本能的に不調を隠すため、症状が現れた時にはすでに進行していることもあります。だからこそ、日頃からのチェックと定期的な健康診断が重要です。健康診断では、身体検査に加えて血液検査や尿検査、必要に応じてレントゲンや超音波検査などを行い、見えない異常を早期に発見することができます。

若く健康な時期でも年１～２回、中～高齢期（一般的に５歳以上）では年２～４回の受診をおすすめします。また、食欲や体重、飲水量、行動の変化など、日常のちょっとした違和感に気づくことも大切です。

健康診断は病気を見つけるためだけでなく、「今の健康を確認する安心材料」でもあります。大切な家族であるペットと、少しでも長く健やかに暮らしていくために、ぜひ定期的な健康チェックを習慣にしてあげてください。

その積み重ねが、かけがえのない時間を守ることにつながります。

Happy Pet Life!!

（音成　伸悟・県獣医師会員）

＜月１回掲載します＞

ペットに関する素朴な疑問や健康、飼い方についての質問をお寄せください。〒422－8670　静岡新聞社編集局「ペット質問箱」係へ。Ｅメール＜seikatsuhoudou@shizuokaonline.com＞や、右のＱＲコードで投稿フォームからも送信できます。全てにはお答えできず、直接回答もしかねますがご了承ください。